テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

FF14　備忘ログ(PATCH2.0)　ギャザラー編

漁師クエスト

©2010－2014 SQUARE ENIX CO.,LTD.All Rights Reserved. FINAL FANTASY XIV

漁師ギルド　入門編

漁師ギルド受付
ン・ンムリカ ： はーい、こちらはリムサ・ロミンサの漁師ギルド「網倉」ですよー。もしかして、漁師志望の方ですか？
こちらでは冒険者の皆さんに、釣竿の使い方から漁場の選び方まで、釣りに関するあらゆることを学んでいただけます。
どうでしょう、漁師ギルドに入門しますか？

いいえ
あれま、そうですかぁ。残念です、せっかく新人さんが来たかと思ったのに。
あの、もしも気が変わったら、また来てください。私も漁師ギルドのみんなも、ずっと待ってますから。約束ですよ？

漁師ギルド受付　**はい**
ン・ンムリカ ： んんっ、大変結構です！　それでは最初に漁師ギルドの歴史について、ささっと説明しちゃいますね。
漁師ギルドの発展は、立地条件と深く関係しています。潤沢な海産資源に恵まれたこのリムサ・ロミンサで、
漁業が盛んになるのは当然の帰結。
地引き網や底引き網など、漁が大規模化するにつれて、漁師同士の協力関係が生まれ、やがて「網組」という、
互助組織が作られるようになりました。
この漁師ギルド「網倉」は、リムサ・ロミンサで最大の網組として知られています。
私たちの活動内容は、漁を行うだけにとどまりません。漁船や港湾施設の管理や、漁獲物の価格調整のほか、
冒険者に対する漁法の指導にも力を入れています。
冒険者の方々に勧めているのは、竿釣りです。網を使った漁は、やはり人数が必要ですからね。
だいたい身ひとつですから、網よりも竿です！
もちろん釣果では、網で獲る量に一歩譲るでしょうが、あれでなかなか奥が深いですからね、竿釣りって。
漁師の技量で大きく差がつく漁法なんですよ。
どうです、釣り……覚えてみませんか？　興味があるなら、ギルドの責任者にお取り次ぎしますよ。
気持ちが固まりましたら、声をかけてくださいね。

網元代行シシプ

漁師ギルド受付
ン・ンムリカ ： おっ！　どうです、漁師ギルドに入門する決心はつきました？

いいえ
あれ、違うんですか？てっきり決心したものかと……。
とはいえ、まだ迷ってる人を無理に引きこむわけにもいきませんね。わかりました、入門したくなったらまた来てください。

はい
その決心、確かに受け取りました。では、漁師ギルドの責任者にお取り次ぎしますね。
現在、漁師ギルドでは色々理由がありまして……本来の責任者であるギルドマスター「ワワラゴ」さんが、実務を担当してないんです。
代わりにギルドマスター代行として、「シシプ」さんが仕事を引き継いで漁師ギルドを運営しています。
その「シシプ」さんが、あなたが漁師ギルドに相応しいかどうかを見極めてくれるはずです。
そこの生質を見守っている女性です。さあ、自分の気持ちを素直に伝えてみてください。

シシプ ： うん、あなたが入門希望者ね。ン・ンムリカさんの話は聞こえてたから、大丈夫。私がシシプよ、よろしくね。
ギルドマスターは、あくまでも親分のワワラゴさん。でも、仕事をしてくれなくって困っちゃう。
だから私が代わりに仕事をやってるのよ。
当然、あなたが漁師ギルドの一員として相応しいか、それを見定めるのも私の役割ってわけ。
……なんてね、私が見るのはやる気だけ。あなた自身にやる気があるかどうかが大事なのよ。
で、どうする？　漁師ギルドに入ってくれるの？

いいえ
シシプ ： あ、あれ？　やめちゃうの？　ホントに？　ええと……あの、考え直してもいいですからね？　待ってるから、また来てくださいね！

はい
シシプ ： いい返事……気持ちがいい人ね、あなた。わかりました、漁師ギルドはあなたの入門を歓迎します！
でも、修行はあんまり甘くないですからね？　立派な漁師になってもらわないと困るし。ビシビシいくから、そのつもりでね？
じゃあ、まずは道具を揃えるところから始めましょ。これ、「ウェザードフィッシングロッド」よ。
入門したばかりの人には、この初心者用の竿を使ってもらうことにしているの。いきなり高価な竿を渡しても、使いこなせないしね。
さあ、まずはその竿を装備してみて。そうしたら、私に話しかけてくれる？　ちゃんと装備できたかどうか、確かめてあげる。

弱い魚と挑戦者

シシブ ： 釣竿を持ったその姿、なかなか様になってるわね。漁師って名乗っても怒られないくらいには。
くれぐれも、釣竿は丁寧に扱うのよ？　肝心なときに壊れてたら、お話にならないもの。
さて、あなたにはこれから漁師の基本中の基本である、釣竿を使った漁を学んでもらうわね。
手始めに、「ロミンサンアンチョビ」を5匹釣ってきてくれる？
ロミンサンアンチョビは群れで泳ぐ、小さなお魚さんなの。ここリムサ・ロミンサが浮かぶ海、ガラディオン湾にいるから、
都市から出なくても、釣れるはずよ。
釣り餌も「ラグワーム」で釣れるくらい簡単なのよ。それと、釣り餌は道具屋やよろず屋で買えるから、
手持ちが足りなくなったら、お店で買ってちょうだいね。

シシブ ： 「ロミンサンアンチョビ」を5匹、釣ってくるのよ。リムサ・ロミンサ都市内の釣り場で釣れるはず。
釣り餌は「ラグワーム」で大丈夫よ。

？？？？ ： ほうほう、活きのいい「ロミンサンアンチョビ」ぢや。こりゃ、なかなか将来有望そうぢやのう。その調子で精進するんぢやぞい。

シシブ ： ワ、ワワラゴ親分！？　どうしたの、なんでここに？

ワワラゴ ： 新人に「ロミンサンアンチョビ」を釣らせたと聞いての、ちょっぴり、おすそ分けしてもらいに来たんぢや。
「ロミンサンアンチョビ」のペーストは、酒によく合うでの。

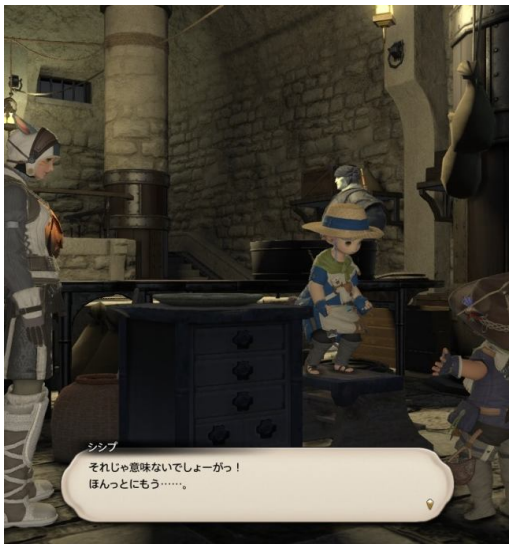
シシブ ： それだけなのっ！？　もう……ちゃんと仕事してほしいんだけど！

ワワラゴ ： また帳簿の数字が合わなくなってもいいんなら、仕事しないこともないんぢやが？

シシブ ： それじゃ意味ないでしょーがっ！　ほんっとにもう……。
……ともかく、釣竿の使い方はもう理解できたわよね？　今回教えたことが、釣りの基本中の基本。
でも、基本をおろそかにしちゃダメよ？
釣り場の選び方とか、釣り餌の選び方とか、次々に増えていく新しい知識を覚えるためには、
その土台になる基本がしっかりしてないとダメなんだから。

ワワラゴ ： あとは、どんどん釣ることぢやな。どんな場所で、どんな魚が釣れるのか……失敗した分だけ成長できる、レンアイと一緒ぢやな。

シシブ ： もう、親分は女の子のコトしか考えてないんだからっ！　親分はこんなだけど、また漁師ギルドに来てね。
そのときまでに、新しい課題を準備しておくから。



好きな釣り餌、嫌いな釣り餌

シシプ ： うんうん、修行はサボってなかったみたいね。ニオイでわかるわ、お魚さん臭いもの！
でもね、「慣れ」だけで釣れると思ってたら大間違い。釣りは奥が深いものだって、前も言ったでしょう？
お魚さんって、あなたが思ってるよりずっと賢いのよ。釣り人の気持ちなんて、簡単に見透かすんだもの。
だから釣るときは、お魚さんが好きな「釣り餌」を選んで、ちゃんと誘ってあげないとダメなのよ。いわば人とお魚さんの、真剣勝負ね。
たとえば「ハーバーヘリング」なら、釣り餌は「ラグワーム」を使ってもダメよ。ちゃんと「ピルバグ」を使ってあげないと。
実際に、体験してみるといいわね。試しに「ハーバーヘリング」を3匹、釣ってみて。この「リムサ・ロミンサ」の都市内で釣れるはずよ。
そうそう、同じ場所で長時間の釣りをしても、お魚さんが警戒して、次第に釣れなくなってくるわよ。
ほどほどにするようにね。

シシプ ： 「ハーバーヘリング」はまだ3匹釣れないの？「リムサ・ロミンサ」なら、どこででも釣れるはずよ。餌は「ピルバグ」を使いなさい。

シシプ ： あなたの釣った「ハーバーヘリング」は、遠洋航海に持っていくための保存食として、塩漬けにしたりするお魚さんよ。

ワワラゴ ： 励んでおるようぢやな。ワシも若い頃は、お魚さんとの真剣勝負に打ち込んだもんぢや。

シシプ ： わっ、また来たの、親分！？

ワワラゴ ： ひどい言い草ぢや……ギルドマスターはワシなのに。

シシプ ： だったら、ちゃんと仕事してよね！　働かざる者、なんとかかんとかよ！？

ワワラゴ ： ううっ、シシプちゃんが年寄りに厳しいのぢや。若い頃に、七つの海を渡り歩いて釣りまくったワシに、
さらに働けと追い打ちをかけるんぢや。

シシプ ： でもでも、遊びまわって腕を錆び付かせちゃったら、何にもなんないじゃないのよ！
……ともかく、漁師はお魚さんあっての生業なんだから、お魚さんと真剣に向き合うことが大事なの、わかる？
わかってくれたのなら……「釣り手帳」を、もっと活用してみるといいんじゃない？
最初のうちは、手帳に書いてあることがわからなくても、経験を積めば理解できるようになるはずよ、がんばってね。
じゃあ、今回はこれでおしまい。またしばらくは、自分で努力を続けてみてね。それまでに私は、また新しい課題を用意しておくわ。

大物を狙え！

シシプ ： あっ、◇◇◇！　どうかしら、漁師の修行には慣れてきた？　お魚さんと、いい勝負ができてる？
今は基礎を学ぶ時だもの、ワワラゴ親分みたいに、サボっちゃダメよ？　手を抜いていると、すぐに腕が錆びついちゃうわ。
けど、いくら基礎でも小さいお魚さんばかりを釣るのは、そろそろ飽きてきたんじゃないか、って思うの。
自分の成長を実感してみたいわよね？
以前より、漁師の腕前が上がってきていることだし、大きい魚を狙うことだって、できるんじゃないかしら。
物は試しね、ちょっと挑戦してもらっちゃいましょ。
……そうね、「プリンセストラウトHQ」がいいわ。「プリンセストラウトHQ」を1匹釣ってきなさい！
中央ラノシアなら、「ローグ川」で釣れるお魚さんよ。
好きなエサは「ザリガニボール」のはず。ちゃんと準備して、でっかい獲物を釣ってきてね！

シシプ ： 「プリンセストラウトHQ」を1匹釣ってきて。「ザリガニボール」をエサにすれば、中央ラノシアの「ローグ川」で釣れると思うわ。

シシプ ： うんうん、見事な「プリンセストラウトHQ」ね。文句の付けようのない大きさだわ。

ワワラゴ ： ほお～、こいつは見事ぢや！脂もたっぷり乗ってるし、焼いて「グリルドトラウト」にしたら美味そうぢやよ！

シシプ ： あっ、親分もそう思う？　塩をパッパと振って、遠火でチリチリと……って、なんで、そんなに食べる気まんまんなのよ！？

ワワラゴ ： シシプちゃん、案外けちんぼぢやの。

シシプ ： あげないモン、これは私が食べるために、◇◇◇に釣ってもらったんだからね。
……もちろん、修行の意味もあるわよ？　ほら、こういう大きなお魚さんを釣るにはね、ちゃんとコツがあることがわかったでしょ？
釣りたいお魚さんに適した道具と、それを扱える腕前。そして釣り場に見合った、釣りやすい衣装……
全部が揃わないと、大物は狙えないのよ。
そう、この「プリンセストラウトHQ」の大きさは、釣り竿の性能とあなたの腕前、そして適した衣装、
全部に過不足がなかった証明ってわけ。
ふふ、もう初心者とは呼べない腕前になってきたね。これからも私の知ってることはドンドン教えてあげるから、
しっかり学んでね、◇◇◇。

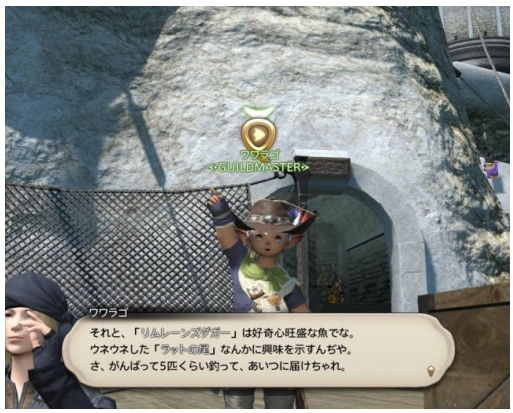
キキルン族の思い出の味

シシプ ： ねぇ◇◇◇、お願いがあるの。漁師ギルドに来たお客さんの相手をしてくれない？
キキルン族の船乗りさんみたいなんだけど、自分のために、お魚さんを釣ってほしいようなの。小口の仕事ってことみたい。
でも、今はちょうどギルドにいる仕事を受けられそうな漁師が出払ってて ね。◇◇◇、あなたに引き受けてほしいの。
今、漁師ギルドの入口でお魚を眺めてる「チュチュルン」さんよ……話を聞いてみてくれる？

チュチュルン ： チュチュルン、船乗りっちゃ。アナタ、漁師っちゃ？　チュチュルン、ギラギラお魚、さがしてるっちゃ。
お船ぷかぷか、チュチュルン、見たっちゃ。お魚、ぎんいろ、ギラギラっちゃ。お魚、ぴょんぴょん、飛んでたっちゃ。
ギラギラお魚、どんな味っちゃ？　チュチュルン、ギラギラお魚、食べたいっちゃ！
アナタ、ギラギラお魚、5匹　釣る釣るっちゃ？　釣り方、シシプに、聞く聞くっちゃ！

シシプ ： あらあら、チュチュルンさんは、欲しいお魚の名前がわからないのね？　だったら、親分に相談してみるといいわ。
ワワラゴ親分は、普段はちゃらんぽらんだけど、エオルゼアの七つの海を渡り歩いてるからね。歩く釣り手帳なのよ。

ワワラゴ ： あ？　わしにお魚さんについて聞きたいぢやと？　……なんぢや、あんまり驚かせんでくれ。
てっきり、シシプちゃんからの刺客かと。
シシプちゃんのソルトコッドパフを、小腹が空いたもんで、つい食べてしまったのぢや。
いつバレるかビクビク……って、それはどうでもよい。
ともかく、そのギラギラお魚の情報ぢやな？　おそらく「リムレーンズダガー」ぢやろう。
「ぴょんぴょん」しよるお魚さんは、少ないでの。
「ぎんいろ、ギラギラ」という色合いも、まさしく「リムレーンズダガー」の特徴ぢや。
リムサ・ロミンサでは、食用にしないんぢやが、南洋諸島のほうぢや、ダシをとったり、卵を食べたりするんぢやと。
その「リムレーンズダガー」は穴場の釣り場である、西ラノシアの「ブルワーズ灯台」におるのぢやが……
スゴ腕の証、「ガルアイ」を持つチミなら釣れるハズぢや！
それと、「リムレーンズダガー」は好奇心旺盛な魚でな。ウネウネした「ラットの尾」なんかに興味を示すんぢや。
さ、がんばって5匹くらい釣って、あいつに届けちゃれ。



チュチュルン ： ギラギラお魚……「リムレーンズダガー」っちゃ？　5匹、食べるの、わくわくっちゃ！
ギラギラ、ギンギン、きれいっちゃ！　チュチュルン、見たの、これこれっちゃ！

シシプ ： やっぱり、チュチュルンさんが見たのは、「リムレーンズダガー」だったのね。
それにしても、このヒレ、ほんとに翼みたい。

チュチュルン ： チュチュルン、じゅるじゅる腹減りっちゃ。ギンギン、キラキラ、食べたいっちゃ。

シシブ ： あらあら、さすがはキキルン族ね。噂通りの食いしん坊さんなんだから。

チュチュルン ： チュチュルン、ギラギラ、丸呑みっちゃ！　ありがと、ありがと、ワカダイショー！
チュチュルン、とっても、嬉しいっちゃ！

シシブ ： あなたがワカダイショーですって、うふふ。こんなに喜んでもらえるなんて、すごいわ！　今回のお仕事は大成功ね！
◇◇◇は、あとで、私のところによってね。私からも、ちゃんとお礼がいいたいの。

シシブ ： 今回は、助かっちゃった。漁師って、船に乗って遠洋まで出ることも多いじゃない？
意外とギルドに動ける人がいなかったりするのよ。
あなたみたいな自由に動ける冒険者が、漁師ギルドの一員として仕事を受けてくれると、すっごく助かるのよね。
それに、釣り上げたお魚も、ほんとうに見事だったわ！　あなたの腕前は、もう「新入り」じゃないわね。
「ワカダイショー」ってよばなくちゃ、うふふ。
そういうわけだから、これからもよろしくね？　どんどん仕事を回しちゃうから！

魚を騙す欺瞞の餌

シシプ ： この間のチュチュルンさんのこと、覚えている？　彼ってば釣ってくれたあなたに、すっごく感動してね。
自分でも釣りたいって言いだして、ギルドに入ったの。
それでね、今度は川の魚を食べてみたいって言うのよ。元船乗りだけに海に出ることが多いから、川魚が珍しいのかしら。
でも、ちょっと問題があって……。キキルン族って悪食で、何でも食べちゃうの。
そのせいで、ついつい釣り餌を食べちゃうんだってさ。
それで私は考えたのよ、食べられない釣り餌……つまりルアーを使えばいいんじゃないかって。
それでね、あなたが先輩として、ルアーを使った釣りのお手本を示してくれない？
「ウォームトラウト」を釣れば、ルアーの良さが伝わるはず！
「ウォームトラウト」は水に落ちた虫を食べるから、「クロウフライ」みたいなルアーで釣るのが最適なの。
5匹くらい釣って、チュチュルンさんに届けてあげてね。
釣れるのは……高地ラノシアの「オークウッド」あたりかな？あのあたり、私もあんまり行ったことないんだけど。

チュチュルン ： あなた、お魚、くれるっちゃ？　「ウォームトラウト」、5匹もくれるっちゃ？
ピチピチ「ウォームトラウト」、げんきっちゃ！　これ、フサフサルアーで、釣ったっちゃ？　◇◇◇すごいっちゃ！

シシプ ： そうよ～、見事なもんでしょ？　あなたのために、◇◇◇が釣ってくれたの。
身が引き締まってて、塩焼とかにするとよさそうね。
チュチュルンさん、ルアー釣りができるようになれば、こんなにおいしそうなお魚さんだって、自分で釣れるようになるわよ？

チュチュルン ： 本当っちゃ？　チュチュルン、お魚、釣りたいっちゃ！　ワカダイショーみたいに、釣りたいっちゃ！

シシプ ： うふふ、そう言うと思った。じゃあワカダイショーのような腕前を目指して、ルアー釣りについて、お勉強しましょうね？

食物連鎖の活用法

シシプ　：　いいところに来てくれたわ。実は調理師ギルドのリングサスさんから、とある魚を調達してほしいって、お願いされたの。
「クロナマズ」っていう名前でね、黒衣森は北部森林の「フォールゴウド秋瓜湖畔」にある
釣り場でしか釣れないっていう、お魚さんよ。
釣るためには、「泳がせ釣り」ができる腕前が必要なの。「泳がせ釣り」はね、釣ったお魚さんをエサにして、
目的のお魚さんを、上手く誘い出して釣り上げる技ね。
それで……釣りの腕と、黒衣森まで遠征できる身の軽さ。ふたつを兼ね備えた漁師となると……
今、ギルドにいる中では、あなたしか思いつかなくて。
……最近、メキメキと釣りの腕前を上げてるわよね？　「泳がせ釣り」もできるようになってるはず。
あなたにこの仕事を、任せたいのよ。
同じ釣り場に、「ゼブラゴビーHQ」っていうお魚さんがいる。「ザリガニボール」で釣ったこの子を泳がせれば、
「クロナマズ」が釣れるはずよ。
この時のコツなんだけど、エサにする「ゼブラゴビーHQ」は、身体が大きく、目立つ子じゃないとダメだからね。
このこと、覚えておいてね？
じゃあ、遠いところまで行かせて悪いんだけど……「クロナマズ」を1匹、よろしくね。頼んだわよ。

シシプ　：　「クロナマズ」が釣れるのは、黒衣森の北部森林「フォールゴウド秋瓜湖畔」の釣り場よ。
1匹でいいから、釣ってきてね。

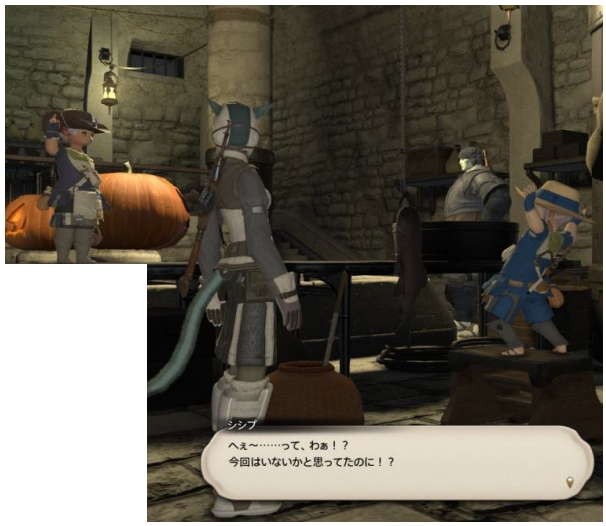
シシプ　：　ありがと、◇◇◇！　あとはリングサスさんに届ければよし、と。やれやれ、なんとか依頼には応えられたわね。
それにしても、なかなかの大物を釣ったわね。見てよ、この大きくて立派な口！
この大口で、ほかのお魚さんをバクバク食べちゃうのよね。
口が大きいせいか、食欲もかなり旺盛でね……黒衣森では漁場を荒らす、漁師泣かせの存在らしいわ。
それにこの魚、ギガント族の好物らしいのよ。釣ってると、彼らに襲われたりもしちゃうんだって。
結構、釣るのも命がけのお魚さんなの。
でも、釣るのに苦労する割りに、お肉が泥臭くって美味しくないのよね……。

ワワラゴ　：　それは泥抜きをちゃんとせんからぢやよ。肉は白身で淡白な味わい、これがまた悪くない。
煮つけたりすると、絶品なんぢや。

シシプ　：　へぇ～……って、わぁ！？　今回はいないかと思ってたのに！？

ワワラゴ　：　わっはっは、ワシは神出鬼没でな？　どこにでもいて、どこにもいないんぢや。

シシプ　：　何言ってんだか……そこにいるじゃないの。ともかくありがとう、◇◇◇。やっぱり、冒険者さんは頼りになるわね。
冒険のできる漁師って、ギルドの中でも多くないのよ。ましてや、「クロナマズ」を釣るほどのスゴ腕は、
あなたを含めて、本当にひと握りだけなのよね。
本当に……あなたがいてくれて、よかったわ。何かあったら、これからも助けてちょうだいね、◇◇◇！



宵闇に釣り糸

シシプ ： このあいだのクロナマズのこと、調理師ギルドのリングサスさん、ずいぶん感謝してた。
あなたは仕事が早くてデキる奴だって、褒めてたわ。
おかげで、グリダニアとリムサ・ロミンサをまたにかける、スゴ腕の冒険者にして漁師がギルドにいる……なんて、
ギルドの中で今、ちょっと噂になってるの。
憧れの視線を向けている人もいるわね。ぜひとも、あなたにはそういう人の目標になって、
これからもギルドを盛り上げてほしいところだわ。
それに、私たち漁師ギルドの中だけじゃないわ。あなたの評判は、ギルドの外までも広がってるのよ。
チュチュルンさんが、知り合いに広めてるみたいでね。
チュチュルンさんの紹介で、ゴブリン族も、「ワカダイショー」に仕事を依頼してきてるわ。
名前は……「トックティクス」さんよ。チュチュルンさんと、一緒にいるから、お仕事の話を聞いてきてちょうだい。

トックティクス ： シュコォ……シュコォ……あえて　うれし～よ～　ワカダイショー！　あにたのうわさ　チュチュルンから聞いてる～！
わなし　チュチュルン　ながいながい　ともだち　チュチュルンの　ともだち　わなしの　ともだち！
だから～　おねがい　あるの～！
わなし　一回だけ　見たね～　海が泡立つ　すんごい　お魚の群れ～
お月さん　きれ～な夜　東ラノシアで見たのね～！
ワカダイショー　探せる～？　探すないなら～　物知りギルドマスター　相談する　いいね～！

ワワラゴ ： ゴブリン族が月夜に見た魚……ぢやと？ふむ、今ノリにノッてる◇◇◇クンにもわからない事は、あるというわけぢやな？
わはは、すまんすまん！　今のはちょっと、意地悪ぢやったよ。ちゃんと相談に乗るぞい、月夜に釣れる魚の話ぢやな？
「月夜」と、目撃場所の「東ラノシア」……このふたつのヒントから導き出される答えは、ひとつぢや。
「フルムーンサーディン」……成長段階に応じて、泳ぐ場所を変える回遊魚ぢやよ。
食べ頃に成長した「フルムーンサーディン」は、この島と大陸を隔てる、メルトール海峡に来るのぢや。
特に夜になると海流に乗って、陸に近い沿岸部にまで寄ってくるのぢやよ。その様子を、ゴブリン族が見かけたのぢやろう。
つまり、東ラノシアの「コスタ・デル・ソル」付近で、18時から翌日6時までの「夜間」が狙い目になる。
釣り餌は「スプーンワーム」がオススメぢや！
さあ、知恵は貸してやったぞい。あとは◇◇◇クンの腕次第ぢや。10匹も釣っていけば、ゴブリン族も文句を言うまいよ！

トックティクス ： シュコォ……シュコォ……「フルムーンサーディン」くれるの～？　わなし　10匹　もらえるの～？
シュコォ……シュコォ……　おお～　これ　これ　これ！　これ　わなし　ほしかった！
お月さん　きれ～な夜　見たのね～　このお魚　あってるよ～！
とても　とても　美味しそうね～　きっと　人気商品　なっちゃうね～！
ワカダイショー　すごいね～！　ともだち　チュチュルン　言ってたと～り！
わなし　チュチュルン　かんしゃ！　ワカダイショー　かんしゃ！　あにた　わなし　これから　ホントにともだち！
このこと　みんな　おしえるよ～！　ワカダイショー　すごい　みんな　しらせるよ～！　シシプに　ありがと　つたえてね～！

シシプ ： ゴブリン族が、あなたの話を広めてくれるですって？　彼らは、いろんなところへ行商へ行くから、
あなたの噂は、きっとどんどん広がるわね。
ワカダイショーどころの話じゃないわ。エオルゼアをまたにかける「冒険漁師」よ！
さあ、これからもっと忙しくなりそうね。いつでも、どんな要望にもこたえられるように、もっとたくさん釣りをしておいてね！

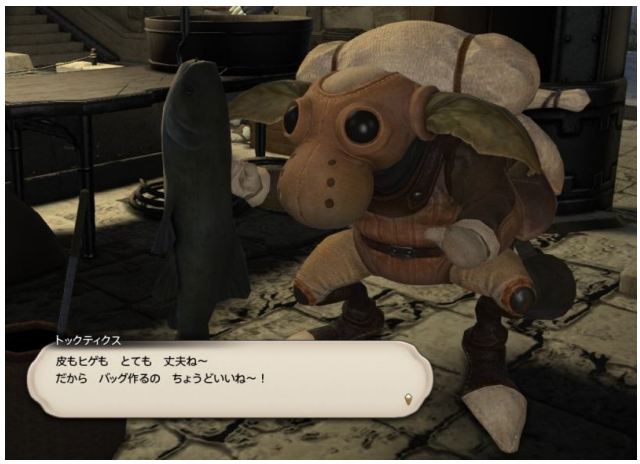
熱砂に潜む魚

シシプ ： 前回、依頼してくれたゴブリン族を覚えてる？　あのトックティクスさんが、「冒険漁師」にふさわしい
ちょっぴり厄介な依頼をしてきたわ。
昔、トックティクスさんがザナラーンで食べた「スナナマズ」を釣ってほしいそうよ。
ただ、こんなお魚さん、私は聞いたことがないのよね……。
しかも、サゴリー砂漠から釣り上げてたって話でね。ちょっと信じられないと思わない？
あんな干からびた場所で、釣りなんて考えられないもの。
トックティクスさんは、南ザナラーンの「忘れられたオアシス」で、「ウ・ゴロムリ」という地元漁師から振る舞われたそうよ。
まずは、彼女に話を聞いてみたらどうかしら？

ウ・ゴロムリ ： へぇ、トックティクスちゃんの知り合いなんだ。たしかに以前、ボクは伝統漁法の「砂海釣り」で釣った
「スナナマズ」をあげたことがあるよ。
それにしても、ゴブリン族って味覚がヘンだよねぇ。あんな不味い「スナナマズ」を、美味しいだなんて言うんだもん。
あの「スナナマズ」はね、ボクらはサンドワーム狩りの撒き餌に使うんだよ。
その撒き餌の味が、忘れられないなんてねぇ……。
そんな彼のために釣ってみせようとは、なかなか見上げた心意気だね。その心意気に免じて、コツってやつを教えてあげよう。
いいかい、「スナナマズ」を釣るコツはエサの違いにある……「サンドリーチ」使うんだ。「スナナマズ」の大好物さ。
そして釣り場は……この「サゴリー砂漠」の東、サゴリー砂丘ってところに釣り場がある。
そこに釣り糸を垂らしてみるんだ。
でも、釣りは釣りでも、砂と海じゃ勝手は違うものさ。「スナナマズ」を釣れるかどうか……それは全て、キミの頑張り次第だよ？
首尾よく釣れたら、イキのいいうちに持っていってあげな。1匹釣れれば十分だと思うよ、前もそうだったからね。

トックティクス ： シュコォ……シュコォ……わなし　「スナナマズ」　ほしいの～！　おさかな　1匹　ちょうだいな～！

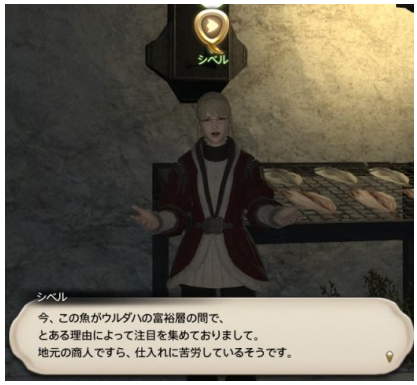
トックティクス ： シュコォ……シュコォ……あにた　ありがと～　うれしいよ～！　でっかい「スナナマズ」ね～！
皮もヒゲも　とても　丈夫ね～だから　バッグ作るの　ちょうどいいね～！
何より　とても　とても　美味しいね～！　クンクン匂いも　たまらんね～！ともかく　ありがと　ワカダイショー！



晴れでは事をし損じる

シシプ ： ちょうどよかった、顔を出すのを待ってたのよ。またまた「冒険漁師」に名指しで依頼が来たわ。
あなたの腕前に、「ブルゲール商会」が興味を持って……「冒険漁師」にぜひ会ってみたいって言われたの。
サゴリー砂漠で「砂海釣り」をこなす、あなたの腕前と行動力を高く評価していてね、
ぜひとも釣ってほしいお魚さんがいるんですって。
仕入れ担当の「シベル」さんが、ギルドにいらっしゃってるから、話を聞いてみて。その後の段取りは任せるわ、自由にやってね。

シベル ： ◇◇◇さんですね？　はじめまして、シベル・ウェンライトですっ！　「冒険漁師」と名高いあなたに、お願いがあります！
「雨乞魚」という魚を、釣っていただきたい。グリダニアの翡翠湖畔の釣り場に生息するのですが……
実は、それだけではない秘密があるのです。
この魚、普段は水辺の泥濘でじっと動かないのに、雨降りのときのみ、泥から出て活発に動くのだとか。
まさしく、「雨を乞う魚」……！　根気強く雨を待たねば釣れない、「幻の魚」でして、
エサの「テッポウムシ」を用意するだけでは、釣れません。
今、この魚がウルダハの富裕層の間で、とある理由によって注目を集めておりまして。
地元の商人ですら、仕入れに苦労しているそうです。
そこで、我々「ブルゲール商会」が、幻の魚「雨乞魚」を売り出したらどうでしょう？　大注目間違いなしです！
地元商人の地盤が固いウルダハ市場に、「ブルゲール商会」が食い込むチャンスです！
どうか「雨乞魚」を5匹、なにとぞお願いします！



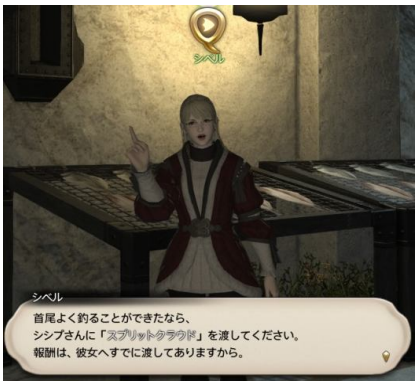
シベル ： 依頼したのは「雨乞魚」を5匹です。正直、私も実在を危ぶんでいたりしますが……
調達できないと、上司に大目玉くらうんでお願いします。

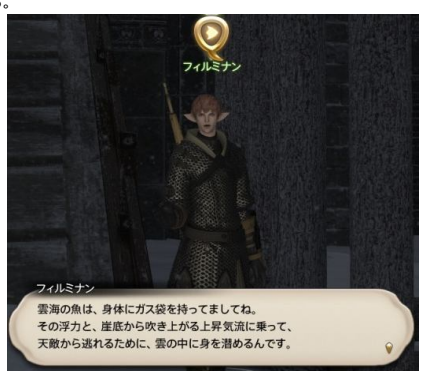
シベル ： これが「雨乞魚」ですかっ！　しかも、これはなかなかの大物！　◇◇◇さんに任せて正解でしたっ！
この魚には特別な効能があるんだそうです。いや、「あると噂されている」という表現が正しいですね。
なんでも、年配の男性固有のとある悩みに、絶大な効能があるんだとか……。まぁ、ウルダハ人の噂なんて、怪しいもんですがね。
ともかく、この「雨乞魚」さえあれば、我々はウルダハ市場で、一目置かれる存在になれます！
いやはや、◇◇◇さんは本当にすばらしい「冒険漁師」ですね。まさしく、聞いていた以上のお手並みですとも。
あなたのスゴ腕、これからも頼りにさせてもらいます。我が商会の取引も捗るというものですからね。
よろしくお願いしますよ！

飛魚乗雲

シシプ ： 最近、あなたの評判がすごいわ。ブルゲール商会のシベルさんから、噂が広がってるみたい。
「スナナマズ」と「雨乞魚」、珍魚を立て続けに釣ってきたのだもの。漁師たちが騒ぐのもムリないわ。
もう名実ともに漁師ギルドの顔ね、あなたは。あなたの釣った魚がほしいって言って、
わざわざギルドをたずねる人までいるんだから。
ただその分、これから先も期待を裏切れないわよ？あなたならって見込んだ仕事は増えてくるだろうし。
今日だってまた、シベルさんが依頼を持ってきてるわ。力を貸してあげてくれない？

シベル ： おかげさまで、「雨乞魚」が目玉商品として注目を集め、前回のウルダハとの交易は、大成功でした！
それで……また、あなたを見込んで、お願いがあるんです。砂漠で魚を釣り上げた「冒険漁師」に！
クルザス中央高地の「イシュガルド」を望む雲海に、「スプリットクラウド」なる魚がいるそうです。
この魚を、5匹仕入れてください！
雲海に棲む魚など、私としても半信半疑ではあります。しかし、我らの重要な顧客、「百鬼夜行」の頭領である
カルヴァラン氏が、是が非でもと求められていまして……。
幸いなことに、わずかですが我が商会は、武器輸出を通じて、イシュガルドに伝手があります。
「フィルミナン」という人物を訪ねてください。
彼がいるクルザス中央高地「ホワイトブリム前哨地」では、若い騎兵たちが、よく雲海釣りをしているそうです。
同じ騎兵である彼ならば、詳しく知るやもしれません。
首尾よく釣ることができたなら、シシプさんに「スプリットクラウド」を渡してください。
報酬は、彼女へすでに渡してありますから。





フィルミナン ： リムサ・ロミンサから、「スプリットクラウド」を求めて、わざわざここに？　随分と遠くから、おいでになったのですね。
確かに、このホワイトブリム前哨地近くの「イシュガルド大雲海」の釣り場には、
空飛ぶ魚、「スプリットクラウド」が棲んでいます。
僕ら見習い騎兵は、糧秣を節約するため、「雲海釣り」も日課ですから、釣り方も心得ておりますが、
その僕たちとて、簡単に釣れるわけではないのです。
ましてや、よそから来られた方に、軽々と釣れるかどうか。あなたは見るからにスゴ腕の漁師のようですが……、
それでも、「雲海釣り」は海と勝手が違うと思いますよ？
雲海の魚は、身体にガス袋を持ってましてね。その浮力と、崖底から吹き上がる上昇気流に乗って、
天敵から逃れるために、雲の中に身を潜めるんです。
エサとして好むのは、浮行性の蠕虫「ホバーワーム」。僕から教えられることは、これですべてです。
あなたが、釣運に恵まれることをお祈りしますよ……。

シシプ ： 「スプリットクラウド」を5匹、注文されたそうね。でも、空飛ぶお魚さんだなんて、本当にいるの？
ともかく頑張ってちょうだいね。

シシプ ： これが「スプリットクラウド」……！　空飛ぶお魚さんって、本当にいたのね。

ワワラゴ ： ほほう……さすが、なかなかの大物を釣ってきたのう。こやつ、お腹の中にガスを溜めて飛ぶところは、
この辺りにもいる浮クラゲに似てるぢやろ？

シシプ ： 確かに……って、親分！　気が向いたときだけ、しゃしゃり出てくるんだからっ！

ワワラゴ ： 空を飛ぶ魚ぢやから、イシュガルドでは、立身出世の願かけで食べるんぢやよ。
すり身のボール入りスープは、体も心もホカホカぢや。

シシプ ： 私、イシュガルドの話なんて、ぜんぜん知らないわ。カルヴァランさんは、この話を知ってて、依頼したのかしら……

ワワラゴ ： あやつは、リムサ・ロミンサでは珍しいエレゼン族ぢや。イシュガルドの高貴な出……なんて噂もあるんぢやが、
どうする、シシプちゃん？

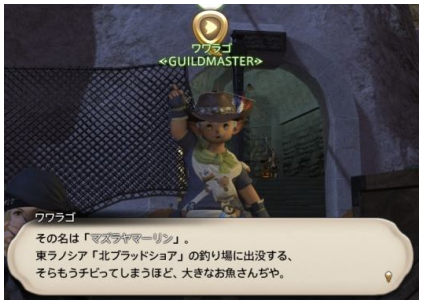
シシプ ： どうもしません！　もうっ、やっぱり親分は邪魔ばっかり！　このお魚は、私がシベルさんに届けておくわね。
今回もありがとう！！

網倉危機一髪

シシプ ： 大変！　大変なの、◇◇◇！　まずいことになっちゃったわ！！禁漁よ、禁漁！
漁師ギルドが海に出てはいけなくなってしまったの。メルウィブ提督の意を受けた、エインザル・スラフィルシン大甲将の命令でね……。
なんでも伝説の「大海蛇」が出たとか、出ないとか。ともかく危険だから、当面は禁漁しろっていうのよ。ああ、なんてことなの……。
なんでこんなことになっちゃったのかしら……？　あまりにも一方的で、状況がわからないの。詳しい人にイロイロ確かめないと。
うーん……あっ、そうだ！　シベルさんに話を聞いてみて。商会は黒渦団とも取引してるし、何か知っているかも。

シベル ： ああ、どうも……。なにやら大変なことになっているようですね。禁漁の連絡は、私のところにも来ています。
海神リムレーンによって封印された大海蛇。それが復活したとき、リムサ・ロミンサは滅ぶ……！
船乗りの間で、まことしやかに語られている伝説です。
伝説は伝説、と割り切ることができればいいのですが、目撃証言もあるせいか、みんな浮き足だってます。
治安維持のため、禁漁はやむを得ないのかもしれません。
ですが、理解はできても商売人としては困ります。早く漁を再開できなければ、漁師も商人もじり貧です。
それなのに、黒渦団も今はまだ新造船の就航前で、本格的な調査ができないようでして……。
このままでは、いつ禁漁が解けるかわかりません。
海の安全を証明できればいいのですが……。しかし、こればかりは我が商会でもなんとも。
ただ、大海蛇の目撃者をつきとめました。漁師ギルドにチュチュルンさんという方がいますよね。
彼が目撃者らしいのです……話を聞いてみては？

チュチュルン ： チュチュルン、見たっちゃ、でっかい、お魚っちゃ！　みんな、みんな「大海蛇」、言ってるっちゃ！
チュチュルン、ガクブルっちゃ。
でも、チュチュルン、お魚、食べたいっちゃ。ギルドマスター、相談っちゃ。



ワワラゴ ： 話は聞いておるよ、冒険者クン。しかし……「大海蛇」が出たという話はどうも信じられん。
チュチュルンクンが、別の魚影を見間違えたんぢやろう。
海の上では距離感が掴み辛いからのう……熟練の漁師でも、大きさを見誤ることはあるんぢやよ。
ある程度以上でかい場合はとくに、のう。
そしてこの時期、リムサ・ロミンサ近海には、非常にでっかいお魚さんが出現することがあってな……。
でかさに驚き、冷静な判断ができんかったに違いない！
その名は「マズラヤマーリン」。東ラノシア「北ブラッドショア」の釣り場に出没する、
そらもうチビってしまうほど、大きなお魚さんぢや。

ワワラゴ ： ぢやが、この魚のことを口で説明しただけでは、スラフィルシンの石頭はダメなのぢや。
ここは……「マズラヤマーリン」を釣り上げるしかない！
しかし、「マズラヤマーリン」は一筋縄ではいかぬ相手。かつてわしは一度だけ、戦ったことがあるのぢやが、
釣り糸をぶち切り、逃げられてしまったのぢや。
その上、巨体に似合わず奴は用心深い。……ぢやが案ずるなかれ、そんなお魚さんを釣り上げる、
必殺の漁法がある……そう、「泳がせ釣り」ぢや！！
お魚さんの食物連鎖を利用するのぢや、冒険者クン！　チミはまず、「ゴビーボール」を用意して、
「ハーバーヘリング」を釣り上げたまえ。
そして釣り上げた「ハーバーヘリング」を泳がせ、「オーガバラクーダ」を釣り上げ……そして！
それを泳がせて「マズラヤマーリン」を釣るんぢや！
実を言えば、わしも再挑戦したいところぢやが……禁漁中に、ギルドマスターが堂々と釣りはできん。
ここは冒険者クン、チミの出番ぢやよ！
わしらは、全力でヒマそうに遊び回る！その間に「マズラヤマーリン」を釣り上げて、シシプちゃんに届けるのぢや！

シシプ ： 「マズラヤマーリン」が要るの！　親分がいるって言うなら絶対いるはずだから……頑張って釣り上げてきてね！

シシプ ： きた！　これが「マズラヤマーリン」なの！？　ちょ、ちょっと予想以上におっきいわね……！
ともかく、これをスラフィルシン大甲将に見せないと。シベルさんに頼んで、段取りはもう済んでるの。
商会のツテを使ってもらったのよ。

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： フッフフ……。臨検以外で商船に乗るのは、随分久しぶりだぜ。
いい船持ってるじゃあねぇか、ブルゲール商会よ。なんか悪ィことして貯めた金だったりしねぇか？

シベル ： め、めっそうもない！　閣下におかれましてはお忙しい中、お時間を割いていただけたことを大変感謝……。

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： 冗談だ、マジになるんじゃあないぜ。それにそういうのはいい、片っ苦しいのは苦手だ。
やるべきことをさっさとやろうぜ、なぁ。

シベル ： ひゃ、ひゃいっ！

シシプ ： シシプ：あの、スラフィルシンさん。「マズラヤマーリン」を見てください！

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： おうよ、そいつが「マズラヤマーリン」だな？でけぇ魚だぜ、こんなもん釣り上げるとは大したもんだ。
それで……お前さんたちゃ、そのマズラヤマーリンこそ、巷を騒がせる大海蛇騒ぎの元凶だって主張するわけだな？

ワワラゴ ： いかにも、そうぢや。他に理由なぞ考えられん、わかったらさっさと禁漁を解除するのぢや！

シシプ ： ちょっと親分！スラフィルシンさんに失礼でしょ！？

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： はっはっは、気にすんなお嬢ちゃん。ワワラゴの爺さんのことは昔から知ってる、この程度で腹立てたりはしねぇよ。

ワワラゴ ： うむ……それで、どうなのぢや？禁漁を解除するのか、しないのか、はっきりせい！

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： そうだなぁ……。
禁漁の解除を……。

シシプ ： 禁漁の解除を？

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： 認めようじゃないか。手続きもあるが……まぁ明日までには布告させるぜ。

シベル ： あ、あれ？　それだけでしょうか、閣下？

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： そうだが……どうかしたか？

シベル ： いえ、その……こんなものは証拠にならん、とか言われるかもしれないと思っていたもので。

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： そんなことはないぜ、オレたち黒渦団が探していたものを、代わりに見つけ出してくれたようなものだ。
大いに証拠になったとも、冒険者さまさまだ。
大海蛇」の出没の陰に、サハギン族の関与を疑った我ら黒渦団は、極秘に調査していたんだが……
この一件、実は誤解ってやつだったのさ。
なんでも黒渦団の調べによれば、最初は単純に「でかい魚を見つけた」という話だったんだろ？
お前さんたちのとこの、ギルド員が言うには。
噂ってのは、ホント怖いよなぁ。人の口に上るうちに、「大海蛇のようにでかい」になって、
最後にゃ「大海蛇を見つけた」になったらしい。
まったく人騒がせなこったぜ。噂ってのはそういうもんだから、しょうがねぇけどよ。

シシプ ： ええと……じゃあ何もしなくても、もしかして禁漁は解除されてたの？

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： いいや、一度出した布告を撤回するにゃ理由がいる。冒険者が釣った「マズラヤマーリン」がなかったら、
こんなに早く禁漁は解除できなかったさ。

シシプ ： そうなんだ……◇◇◇には感謝しないとダメね。あ、そういえばひとつ、気になってることがあるのよ。
どうして、噂が変化しちゃったのかしら？

ワワラゴ ： ううん……。もしかするとわしのせいかもしれんのぢや、それ。

シシプ ： ど、どーゆーこと、親分？

ワワラゴ ： 実はちょっと前、チュチュルンクンに、大きなお魚さんのことを知らないかって聞かれてのう。
「大海蛇のようにでかいのがいる」と答えた気が……。

エインザル・スラフィルシン大甲将 ： うぉっほん！　ま、まぁ……今のは聞かなかったことにするぜ。とにもかくにも、協力ご苦労だった。
黒渦団を仕切る身として、感謝する。禁漁解除は、手続きが終わり次第ギルドに知らせよう。戻って連絡を待つといい。

シシブ ： まったく……噂って怖いのね。噂ひとつで、危うく漁師ギルドが破産するところだったわ。
でも、もう大丈夫ね。スラフィルシン大甲将も保証してくれたし、明日っからは元通りの毎日よ。
それもこれも、◇◇◇のおかげね。閣下も言ってたけど、あなたの釣ったお魚さんが、決め手になったわけじゃない？
漁師ギルドにあなたが入ってくれて、本当によかった。あなたに目をつけたン・ンムリカのお手柄よね。
ちょっと前まで初心者だと思ったら、今では親分にも釣れなかったお魚さん、マズラヤマーリンを釣り上げちゃうんだもんね。
もう、名実ともにギルドいちの漁師はあなたね。でも親分はまだまだ若いつもりだから、
きっと悔しがるなぁ……負けず嫌いだから、あれでもね。
あなたと親分の二人で、ずーっとずーっと頑張って競い合って、漁師ギルドを盛り上げていってほしいな。
そうすれば、みんなももっと盛り上がるに違いないの。一番であるあなたの背中を、追いかけてね。

登場人物

シシブ：漁師ギルドマスター代行。旧１４では漁師ギルドメンバー

ワララゴ：漁師ギルドのギルドマスター。旧１４でもギルドマスター

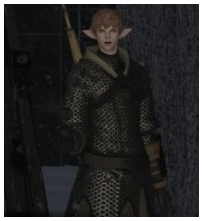
シベル：「ブルゲール商会」社員

エインザル・スラフィルシン：黒渦団の大甲将。旧１４でも登場

チュチュルン：依頼人

トックティクス：依頼人

ン・ンムリカ：漁師ギルド受付

ウ・ゴロムリ：「忘れられたオアシス」の漁師

フィルミナン：イシュガルドの騎兵